


















(様式第2号)

S D G s 達成に向けた取組チェックリスト

・基本項目は23項目全てに、チャレンジ項目は23項目のうち5項目以上に具体的な取組を記載してください。
・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
・これから取り組む項目については、取組内容の記載の前に、【予定】と記載し、これから取り組む予定の項目であることがはっきりと分かるようにしてください。

企業・団体等名（ 合同会社SATSUMA ）



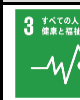




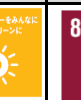









分類	NO	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組 （※事業者が記載する欄）	主なSDGs（17のゴールと169のターゲット）関連項目																	
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
																							
組織体制	1	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有している。	●		経営理念を言語化・明文化し社内へ掲示しています。また、毎週の社内ミーティングにて全職員へ共有し、理念の浸透を図っています。								8	9									17
	2	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している。	●		障害者総合支援法や労働法規など、事業運営に関わる法令遵守の重要性について、定期的な研修を実施しています。また、顧問社労士等の専門家と連携し、適正な運営体制を構築しています。																16		
	3	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当や専門部署などの体制を整備している。	●		企業活動が社会や環境に及ぼす影響（福祉サービスの質、環境負荷等）に対応するため、施設管理者、サービス管理責任者、各業務担当者など、役割分担を明確にした組織体制を整備しています。																16		
	4	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー（※）との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している。（※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体）	●		重要なステークホルダーである利用者様とは定期的な面談を実施し、ニーズやご意見を把握しています。また、職員ミーティングを定期開催し、風通しの良い職場づくりとサービス改善に努めています。															16	17		
	5	【社会的責任】 ・CSR（Corporate Social Responsibility：企業の社会的責任）の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる。		●	障害のある方々へ「働く場」を創出し、PCリサイクルやデータ入力代行等の業務を通じてその経済的自立を支援することが、当法人の社会的責任であると考え、誠実に法人運営を遂行します。																16		
	6	【災害や事故などのリスクへの備え】 ・自然災害や事故などに備え事業継続計画（BCP）を策定し、訓練や見直しを行っている。		●	大規模な自然災害や感染症のまん延を想定したBCP（事業継続計画）を策定しています。また、定期的な避難訓練の実施や、水・食料・衛生用品等の備蓄品を配備し、リスクに備えています。									9		11		13.1			16	17	
	7	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている		●	現時点では具体的な検討は行っていないですが、今後、法人の安定的な運営と理念の継承のため、事業承継についても検討課題として認識しています。								8	9								17	
公正な取引	8	【贈収賄の禁止、公正な競争】 ・汚職・贈収賄の禁止及び不正な競争に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	●		PCリサイクルやデータ入力代行業務において、障害福祉事業所であることを理由とした不当販売（ダンピング）を行いません。サービスの価値に見合った適正な価格での受託を徹底し、公正な競争に取り組みます。										10							16.5	
	9	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる。	●		事業所内の業務で使用するPC、およびデータ入力業務等で使用するOSやソフトウェアは、すべてライセンスが認証された正規品を使用し、知的財産権の保護を遵守しています。								8.2 8.3	9									
	10	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している。	●		・従業員研修において、個人情報保護に関するテーマを取り入れている。 ・情報漏洩防止に対する誓約書を従業員、利用者ともに交わしている。																16		
	11	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる。		●	現在は特定の取り組みはありませんが、今後はPCの回収先や廃棄物処理委託先といったパートナーに対し、人権や環境への配慮について認識の共有を図ることを検討します。					5			8		10		12	13	14	15	16	17	
	12	【公正な貿易】 ・フェアトレード商品の調達に取り組んでいる。		●	生産活動（PCリサイクル・データ入力等）から得た収益は、利用者様へ公正に分配することを徹底します。全国の平均工賃額を上回る工賃の支払いを目標に掲げ、「福祉版フェアトレード」を実践します。	1	2			5			8				12	13	14	15	16	17	
人権・労働	13	【差別・ハラスメントの禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出自などによる差別や各種ハラスメントを防ぐ体制が整備され、社内で差別や人権侵害がないことを確認している。	●		職員・利用者問わず、性別や障害等による一切の差別を禁止しています。また、ハラスメント防止に関する研修を全社で定期的を実施し、人権を尊重する職場づくりを徹底しています。				4.3 4.4 4.5	5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7		
	14	【ワークライフバランス】 ・働き方の見直し等により、過度な長時間労働を防止し、家庭と仕事の両立を図るためのワークライフバランスを推進している。	●		職員の有給休暇取得を推進します。利用者も体調等に合わせた柔軟な利用（勤務）ができる体制を整備。			3		5.5			8.5 8.8		10.3								
	15	【労働安全衛生】 ・業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる。	●		職員・利用者双方の安全と健康を確保します。PC解体作業では工具の安全な使用方法を指導し、保護具（手袋・ゴーグル）の装着を徹底します。また、データ入力作業では、身体的負担を軽減するデスクやオフィスチェアを導入しています。			3					8.8										
	16	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる。	●		業務運営や昇進・昇格等において、人種、性別などの違いにより差別する制度を設けていません。障害者の就労支援（利用者）に加え、職員も性別・年齢を問わず活躍しており、多様性を力に変える経営を推進します。				4.4	5.1 5.5			8.5		10.2 10.3						16.7		
	17	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している。	●		職員のスキルアップのため、法令遵守（No.2）やサービス品質向上（No.37）に関する社内勉強会や外部研修の機会を、職種や役職に応じて提供しています。				4	5.5			8	9									

(様式第2号)

SDGs達成に向けた取組チェックリスト

・基本項目は23項目全てに、チャレンジ項目は23項目のうち5項目以上に具体的な取組を記載してください。
・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
・これから取り組む項目については、取組内容の記載の前に、【予定】と記載し、これから取り組む予定の項目であることがはっきりと分かるようにしてください。

企業・団体等名（ 合同会社SATSUMA ）



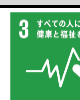










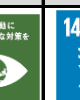
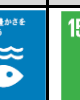


分類	NO	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組 （※事業者が記載する欄）	主なSDGs（17のゴールと169のターゲット）関連項目																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																						
人権・労働	18	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している。	●		雇用形態に関わらず、法人の業績に応じた賞与（手当）をパート従業員へも支給。今後は、同一労働同一賃金の原則に基づき、職務内容に応じた時給体系の整備にも取り組んでいきます。					5.5			8.5		10.2 10.3							
	19	【健康経営】 ・従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上等に取り組んでいる。	●		職員が心身ともに健康に働けるよう、定期健康診断およびインフルエンザ予防接種の費用を全額補助しています。また、誰もが快適に休息できる休憩室を整備し、健康的な職場環境づくりに努めています。			3					8									
	20	【DXの推進】 ・ICTやAIを活用したデジタル化等のDXの推進により業務の効率化やビジネスモデルの変革に取り組んでいる。		●	業務効率化のため、職員・利用者ともにオンライン勤怠管理システムを導入しています。また、職員間の迅速な情報共有と連携強化のため、ビジネスチャットツールを活用しています。								8	9.1		11	12					
	21	【労働環境改善に関する県の登録・認定】 ・労働環境改善に関する県の登録・認定を受けている。 （例）鹿児島県女性活躍推進宣言企業、かごしま子育て応援企業、かごしま「働き方改革」推進企業		●	現在は受けていないが、職員が多様なライフスタイルに合わせて活躍できる職場を目指し、今後は「かごしま子育て応援企業」および「かごしま『働き方改革』推進企業」の認定取得に向けた取り組みを推進します。			3	4	5			8		10							
環境	22	【廃棄物・有害化学物質の管理等】 ・関係法令に基づき適切に廃棄物や有害化学物質の管理及び処理に取り組んでいる。	●		就労支援の作業の一部であるPC・小型家電の解体プロセスにおいて生じる廃棄物は、関係法令に基づき、許可を受けた産業廃棄物処理業者に適切に委託し処理しています。			3.9			6.3					11.6	12.3 12.4 12.5		14.1	15.1		
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		事業所内の照明をすべてLED照明へ切り替えています。また、こまめな消灯の呼びかけや、エアコンの設定温度を適切に管理し、日々の活動におけるエネルギー削減に努めています。							7.3						13				
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		職員・利用者に対し、冷暖房のエネルギー使用量を削減するため「クールビズ・ウォームビズ」の実施を推奨し、気候変動対策（温暖化対策）に貢献しています。		2.4					7.2 7.3 7.a					12.4	13	14	15		
	25	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる（グリーン購入、かごしま認定リサイクル製品等）。	●		不要となったパソコン・小型家電を無料で回収・解体し、そこから得られるレアメタル等の再資源化に取り組んでいます。今後はリユース（再生PC）事業も展開し、循環型社会の実現に貢献します。									9.4			12.4 12.5	13	14	15		
	26	【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している。	●		PCの解体・再資源化プロセスにおいて、機器に含まれる微量の有害物質が土壌や河川に流出しないよう、適正な分別管理と産業廃棄物処理業者への委託を徹底し、生態系への悪影響を防いでいます。						6.6								14	15		
	27	【3Rの推進】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制（リデュース）、再使用（リユース）、再生利用（リサイクル）に取り組んでいる。	●		No.25の取組（PCの再資源化）に加え、事務所内ではコピー用紙の両面印刷を徹底しています。また、印刷ミスした用紙もメモ帳として再利用（リユース）し、資源ごみの分別も徹底しています。						6.3			9.4		11.6	12.2 12.4 12.5	13	14.1	15		
	28	【水の管理】 ・自社の水の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に努めている。		●	手洗いや清掃時において、「水を出したままにしない」「蛇口をしっかりと閉める」といった節水の呼びかけを定期的に行い、職員・利用者ともに水資源の保全意識を高めています。		2.4				6.1 6.3 6.4 6.6 6.b					11.5			14.1 14.2 14.3	15		17
	29	【食品ロスの削減】 ・食品ロスの削減に取り組んでいる。		●	現在は特定の取り組みはありませんが、今後は職員・利用者への意識啓発など、事業所内でできる食品ロス削減の取り組みを検討していきます。	1	2				6.4						12.3		14	15		17
	30	【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している。		●	現在は取得していませんが、将来的にはエコアクション21等の環境マネジメントシステムの認証取得を検討し、環境経営のレベルアップを図ります。			3.9			6	7					12	13.3	14	15		
	31	【環境情報開示】 ・環境の取組に関する情報を正しく開示している。		●	PCリサイクル・再資源化といった環境負荷低減の取り組みについて、現在作成中のホームページで開示します。また、企業や一般家庭向けのチラシ等を通じ、積極的に情報発信していきます。												12.6					
	32	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善や再生可能エネルギーの利用や供給に取り組んでいる。		●	今後は、事業所で使用する空調設備やPC機器の更新時に、より省エネ性能の高い高効率機器の導入を検討し、エネルギー使用率の改善を目指します。							7.1 7.2 7.3 7.a		9.4				13.1 13.3				
	33	【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる		●	今後は、事務用品や消耗品（紙類やコーヒー等）の調達において、FSC認証など天然資源の持続的利用に配慮した認証製品の積極的な利用を検討していきます。												12.2	13	14	15		

(様式第2号)

S D G s 達成に向けた取組チェックリスト

・基本項目は23項目全てに、チャレンジ項目は23項目のうち5項目以上に具体的な取組を記載してください。
・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
・これから取り組む項目については、取組内容の記載の前に、【予定】と記載し、これから取り組む予定の項目であることがはっきりと分かるようにしてください。

企業・団体等名（ 合同会社SATSUMA ）

分類	NO	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組 （※事業者が記載する欄）	主なSDGs（17のゴールと169のターゲット）関連項目																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																						
環境	34	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・植林等、持続的な森林利用への取組を推進している。		●	今後は、事務用品（コピー用紙等）の調達において、FSC認証など持続可能な森林資源の利用に配慮した製品の利用を検討していきます。						6.1 6.3 6.6			9.4		11.3 11.4 11.5	12.2	13		15		
	35	【海洋ごみ】 ・プラスチックの使用削減等海洋ごみの削減や、海洋汚染の防止に貢献している。		●	事業所内でのプラスチックごみ（ペットボトル等）の削減のため、職員・利用者に対し、マイボトルや水筒の持参・利用を推奨しています。												12.2 12.5		14			
	36	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境に配慮した自動車の使用を促進している。		●	一部の職員は通勤時にバスや電車などの公共交通機関を利用しており、結果として日々の移動におけるCO2排出量の削減に貢献しています。									9.4		11.2		13.1 13.3				
製品・サービス	37	【製品・サービスの安全性と品質確保】 ・製品・サービスの安全性や品質を確保する仕組みを構築している。	●		利用者様への支援（サービス）の質を維持・向上させるため、定期的に社内勉強会を開催し、職員の専門性向上と支援内容の標準化・改善に努めています。				3.9					9			12.4					
	38	【ユニバーサルデザイン】 ・誰もが利用しやすいサービス提供や環境整備を行っている。	●		障害の有無や個々の特性に関わらず誰もが働きやすい環境を目指し、利用者様のその日の体調に合わせて、作業時間や担当する業務内容を柔軟に調整できる体制を整えています。									9.1	10	11.7						17
	39	【社会課題解決】 ・社会課題を解決するための製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる。		●	「福祉と地域の連携」をテーマに掲げ、障害のある方々へ多様な就労機会（PC解体・再生等）を提供しています。同時に、地域社会の不要PC回収ニーズに応えることで、福祉（雇用）と環境（リサイクル）の両面から社会課題の解決に貢献します。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
社会・地域貢献	40	【地域への参画】 ・自治活動や福祉活動、防災活動や寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる。	●		当法人の主事業である就労継続支援B型事業所の運営を通じ、障害のある方への就労支援という形で、地域の福祉活動に貢献しています。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	41	【地域資源】 ・地域産物等の地域資源を積極的に利用（地産地消等）している。		●	現在は特定の取り組みはありませんが、今後は事業所で使用する備品・消耗品において、調達可能な範囲で地域産品（鹿児島県産）の利用を検討していきます。		2.3 2.4					7.3	8	9		11.a	12.3	13	14	15		17
	42	【インターンシップの受入れ等】 ・職場体験、インターンシップの受入れ、出前講座の実施など、地域の児童や学生に対し、学びの場を提供している。		●	地域の福祉・教育に貢献するため、今後は特別支援学校や関係機関からの実習生（職場体験・インターンシップ）の受け入れを積極的に行い、学びの場を提供していきます。				4				8.6		10.2							17
	43	【若者の地元定着等】 ・若者の県内就職を促進する取組を行っている。		●	職員の採用において、鹿児島市内在住者を優先的に採用することで、地域の雇用創出と若者および多様な人材の地元定着に貢献しています。				4.4				8.5 8.6									17
	44	【持続可能な観光の実現】 ・持続可能な観光（サステナブルツーリズム）の実現に寄与する取組を実施している。		●	（事業特性と現時点での関連性が低いため、記載なし）								8	9		11	12		14	15		17
	45	【条件不利地域の振興】 ・条件不利地域（離島や中山間地域等）の振興に寄与する取組を実施している。		●	（事業特性と現時点での関連性が低いため、記載なし）		2	3	4				7	8	9	10	11	12		14	15	
46	【移住・交流の促進と関係人口の創出・拡大】 ・地域外からの移住・交流の促進や、関係人口（※）の創出・拡大に寄与する取組を実施している。（※移住した「定住人口」や、観光に来た「交流人口」ではない、地域や地域の人々と多様に関わる人々）		●	（事業特性と現時点での関連性が低いため、記載なし）								8			11	12			15		17	